
仮面ライダークルス－レジエン－

ツルギ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

仮面ライダークルスーレジェン

【Nコード】

N3228V

【作者名】

ツルギ

【あらすじ】

雪影町と呼ばれる町。この町には、とある現象が多発していた。

音が消え、人が居なくなると言う現象が。

それと同時に、仮面を付けた人物が目撃される。その仮面の人物の名は仮面ライダー『クルス』

音を操り、音で戦う仮面の戦士。

彼は仲間と共に町に起きる現象を解決していく。

これは、『仮面ライダーダークルス』の装着者、『マイペース』の荒神サクヤとその仲間達が繰り広げる物語である。

彼が奏でる音は何処へ響くのか……

※ これは瑠璃色のマイソロジ―に投稿している作品を設定を変えて載せています。

第一話 少女とマイペースな少年

雪影町と呼ばれる町にあるししょうがくえん祠奨学園。

エスカレーター式のこの学園は小学生～大学生までがおり、その広さは雪影町一と言われており、1人の少女が迷子になっていた。

「も～！　いくら何でも広すぎるよ！　彩華は私を置いて連れて行ってくれるって行ったのに、先に部活に行っちゃうし」

少女の名はいそがみさき磯神沙希。この祠奨学園には珍しく、外部からの入学者である。

沙希は親友になった桐生彩華に吹奏楽部に案内して貰っている最中、彩華を見失い、部室が集合している部室練で迷っていた。

「はあ、仕方ないなあ。地道に探していくしかないか」

沙希は溜め息を吐きながら目の前の道を歩き始めた。

「しかし、広いよね。この学園。複数の財閥が協力して運営しているなんて凄すぎ。だけど、あの財閥まで参加してるなんて。でも、名前も見えた目も変えてるし、バレないよね」

沙希はこの学園の広さに改めて驚き、そして自身が嫌っている財閥の事を思い出し、顔を曇らせるが、

「？……………これはメロディー？」

微かに聞こえてくるメロディーに耳を傾けた。

「こっちからだ」

沙希はそう呟くと、音の聞こえる場所へと歩き始めた。

♪~~~~♪

「ここからだ……………失礼します」

沙希は自由部という札が掲げられている扉の前に来ると静かにドアを開いた。そして、沙希の目には、ハーモニカを吹く銀髪の少年が映った。

「（キレイな音色。とても、澄んでいて雑念が感じられない）」

沙希はハーモニカの音を聞きながら心でそう感じると、手に持っていた箱から、自身が愛用しているヴァイオリンを取り出し、演奏を始めた。

「?!……………」

銀髪の少年は突然聞こえてきた音に驚くが、気にせずハーモニカを再び吹き始めた。

それから、しばらくの間部室練にはメロディーが響き渡っていた。

『相棒、楽しそうだぜ!』

『珍しく笑顔だクマ』

『流石はサクヤだガウ』

『良い演奏ラス』

『気持ち良いコン』

そして、部屋にある棚の上でホログラム映像になっているサクヤの相棒と呼ばれるメタルアニマルのウインル、クマード、ウルーフ、フォクス、ライースが2人を見ながら、微笑ましそうに言っていた。



それから数時間後、

沙希は少年に場所を教えて貰い、吹奏楽部の部室に来ていた。

「彩華！ 置いていくなんてヒドいよ！」

「あはははっ、ごめんね♪ でも、ちゃんと来れたんだから良いじゃない」

沙希は部室につくなり、彩華の姿を見つけて文句を言うが、彩華は笑いながら沙希に言葉を返した。

「もうっ、サクヤくんを道教えて貰わなかったら、まだ迷ってたよ！」

「へっ？ 沙希、サツくん会ったの？」

「そうだよ。どうかしたの？」

彩華は沙希の言葉に呆けた声を出して聞くと、沙希は彩華の呆けた声に不思議に思いながら答えた。

「へー、サツくんがねー♪ そっか、そっか♪」

「本当にどうしたの？」

「ふふ、何でもないよ♪ それより、ほら、部長に入部届を出さない」と

沙希の言葉に彩華は笑顔で嬉しそうに言うと、沙希はそんな彩華に聞くが彩華は沙希の言葉に笑顔のまま言い、沙希を部長の所に連れて行った。

この時はまだ、自分が出会った少年が自身の人生を変える事を沙希は知らなかった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3228v/>

仮面ライダークルスーレジェン

2011年10月7日09時07分発行